

シンガポール初開催！中国地方5県の広域観光プロモーション 「中国地方インバウンドフォーラム」

シンガポール事務所

平成 29 年の中国地方 5 県（島根県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県）におけるシンガポール人の延べ宿泊者数は約 2 万 2 千人で、前年比で約 2.5 倍となりました。

このように訪日旅行者が増加しているシンガポール市場に向けて、中国地方の観光資源の魅力をさらに PR するとともに、中国地方への旅行商品の造成と販売促進をシンガポールの旅行会社に働きかけるため、7 月 31 日に中国地方 5 県の広域観光プロモーション「中国地方インバウンドフォーラム」（主催：中国地域観光推進協議会、中国運輸局）がシンガポールで初めて開催されました。

クリアシンガポール事務所もこのフォーラムにお招きいただき、意見交換等を行いましたので、その内容を紹介します。

1 観光情報説明会

観光情報説明会は、シンガポール国内の旅行会社を対象に、中国地方の観光スポットやシンガポールからのアクセス方法などを紹介するもので、約 50 人の旅行会社関係者が集まりました。

各種 PR の中でも、平成 29 年 10 月に就航したシルクエアの広島直行便によるアクセス利便性向上は強調され、広島空港をゲートウェイとした中国地方全体を旅するモデルコースが紹介されました。

また、6 月末から 7 月上旬にかけて起きた西日本豪雨の影響にも触れ、「復旧は進んでおり、現在では中国地方の主要観光地は通常営業を再開した」と、安心して旅行ができることが呼びかけられました。

2 情報交換会

観光情報説明会の後、中国地方 5 県の代表者と、JNTO シンガポール事務所、クリアシンガポール事務所、在シンガポールの日系旅行会社 2 社との間で、訪日旅行に関するシンガポール市場の動向についての情報交換を行いました。

その中では、以下のような「シンガポール市場の特徴」や「シンガポールにおける自治体の観光誘致活動」、「東南アジアで観光プロモーションを行う上での注意点」が挙げられました。

<シンガポール市場の特徴>

- 昨年の訪日旅行者は延べ約 40 万人。
- 成熟市場に入りつつあるが、2012 年以降、訪日旅行者は毎年 10%以上増加。
- 訪問先の主流は「ゴールデンルート+北海道」であるが、分散化も進行。
- 中国地方のインバウンド促進では、シルクエアー広島直行便の定着化がカギ。

<シンガポールにおける自治体の観光誘致活動の現状>

- 鳥取県の海産物、岡山県のフルーツといったように、いくつかの自治体は「食」を切り口として、食材の販路拡大と食材産地への観光誘客を効果的にPRしている。
- クレアでも、料理教室「ABCクッキングスタジオ」と連携し、各自治体の特産品を用いた料理体験を通じて、地方の魅力を発信している。

<東南アジアで観光プロモーションを行う上での注意点>

- 旅行者は他国（日本）の歴史にそれほど関心を持っていない。
⇒ それよりも、自分が被写体に入り込みたいと思わせる景色、食べたいと思わせる食事、体験したいと思わせるアトラクションを。
- 自治体名を前面に出しても、旅行者はそれが何処にあるか分からない。
⇒ 自治体の枠を越えた観光地間の連携（点から線、線から面）や、旅行商品と連携したプロモーションを。
- 言語が一緒でも、国によってニーズやトレンドは異なる。
⇒ 現地の人働く現地の事業者との連携し、各国のニーズにマッチした言語・フレーズ・写真でのプロモーションを。

今回は中国地方の広域観光プロモーションを紹介しましたが、その中で得られた「自治体の枠を越えた観光地間の連携」や「各国のニーズにマッチしたプロモーション」といった注意点については、全国の自治体でも参考になるのではないのでしょうか。

クリアシンガポール事務所では、これからも様々なイベント取材し、最新の情報を発信していきます。



観光情報説明会

情報交換会

(藤田所長補佐 岡山県派遣)

(中山所長補佐 札幌市派遣)

(石渡所長補佐 東京都大田区派遣)

